

—あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ—



2022

第70号

2月1日

# とめ 市議会だより



登米市子供議会2021

公益社団法人とめ青年会議所  
登米市子供議会



目次

特集1	子供議会2021	2
特集2	意見募集	6
	12月定期議会	8
	常任委員会報告	11
	一般質問	14

# 特集1

## かがやけ未来世代 インタビュー

### 登米市子供議会2021

# 未来世代のアイデアがいっぱい

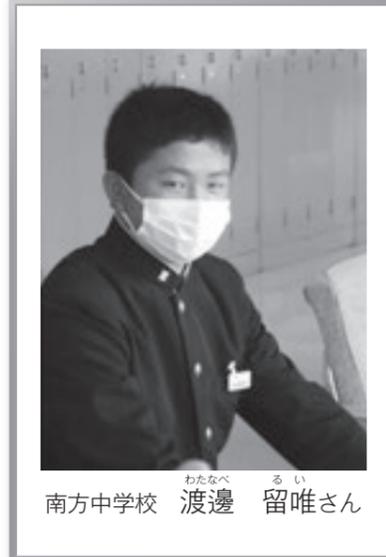
## とめ青年会議所 × 登米市・登米市議会

今年は19名の市内中学生が「子供議会2021」に挑戦しました。参加した皆さんの中で、早めに到着した皆さんの子供議員さんに話を伺いました。



石越中学校 工藤 鈴々さん

皆さんの自己紹介をしてください。  
**皆川** 中田中学校2年の皆川ひかるです。  
**渡邊** 南方中学校3年の渡邊留唯です。  
**工藤** 石越中学校2年の工藤鈴々です。  
**大森** 津山中学校2年の大森奈々です。  
**渡邊君**は3年生だけど、コロナ禍で学校生活は変わってた？  
**渡邊** 1年生の時は、朝会や生徒総会でも全員が集まったりしていたけど、2年から3年生の前半まではほとんどやっていないですね。  
でも、今は朝会も集まるし、役員選挙なんかもやるようになって、戻ってきたかなあといい感じですよ。



南方中学校 渡邊 留唯さん

学校生活の場面で面白かったことは？  
**皆川** 運動会くらいじゃないですか。  
**渡邊** 役員選挙！（笑）。  
**大森** 学校独自のフィールドワークというのをやっていてそれが楽しかったです。  
**工藤** 今年やった学習発表会が楽しかったな。  
子供議員にはどうやって選ばれたの？

**大森** 先生から、「やってみませんか」って声を掛けられました。  
**皆川** 僕も先生に言われて、でも、ちょっと子供議会にも興味があったので、やってみることにしました。  
**工藤** もともと来る男の子がいたのですが、来れなくなつたので、その代理です。  
**渡邊** 生徒会の会長で、そのまま先生に送り出されました。



津山中学校 大森 奈々さん

### 子供議会を終えて

思いを伝えられましたか。点数を付けたら？  
**皆川** 自分の中では、だいぶできたかなと思います。それでも少し微妙で70点くらいかな。  
**大森** とても緊張しました。ちよつと恥ずかしがる場所もあって、60点くらいかな。  
**工藤** 初めて参加してとても緊張しました。代理でしたが、思っていることは同じだったので、思い通りにできました。70点。  
**渡邊** 87点くらい。私はこういう大きな舞台で発言するというのは、非常にいい経験になりましたし、今後の自分の

みなさん、お疲れさまでした。将来に期待しています。

次のページはみんなの質問要約です

前回も生徒会の子が多かったけど、みなさんは？  
**全員** 生徒会です。  
ああ、やっぱり。生徒会の役員には自分から？  
**大森** 自分からです。  
**工藤** 私も自分からです。  
**渡邊** 先生に言われたけど、やってみたいと思いました。  
**皆川** 自分から言いました。  
みんなすごいね。ぜひ市長にも挑戦して（笑）。  
子供議会への期待とかあったら聞かせてください。  
**皆川** 自分の意見が登米市の今後につながっていくと思うと、興奮しますね。  
**渡邊** 登米市に住んでいて、こういう風になつたらいいな

と思うことがあるんで、そういうところが反映されるといいなと思います。  
**大森** より良い登米市にするために、自分の意見が伝えられるように。  
**工藤** わたしも、登米市にいるいろいろなことを言う機会になるので、良くなって。



中田中学校 皆川 光さん

最後に意気込みを聞かせてください。  
**渡邊** 皆さんが共感するような質問をして、執行部の人たちが困らせたいと思います。  
**工藤** 初めてですが、いい意見を出せるように頑張りたいと思います。  
**大森** 自分の意見がやっぱり大切だと思うので、そこをしっかりと恥ずかしがらずに頑張ります。  
**皆川** 執行部の皆さんにバンバン意見を言います。意地でも陸上競技場を造らせませう。

中田中学校 皆川 光さん



津山中学校2年 伊藤 琉衣さん

通学路の安全について

通学する際に、歩道が狭くてすれ違いができず、一度車道にはみ出すこともあり、不便さを感じている。夏には草木が歩道まで生い茂り、雪が降ると日陰の雪が氷となり危険を感じる。道路整備を考えていただきたい。

通学路となつている学校周辺の道路や交差点周辺の安全が確保されるよう、作業範囲や作業回数、作業時期を工夫し、できる限り対応する。



豊里中学校2年 永谷 海翔さん

コロナ対策について

緊急事態宣言の時に、自粛の促しや消毒の徹底をしてきたが、そのほかにはコロナ対策をおこなったのか。また、人が集まるイベントでの対策は。

コロナ感染対策として、市が管理する公民館や体育館などの公共施設については休館とし、併せて主催のイベントについては原則中止、または延期とした。考え方をホームページで周知している。



新田中学校2年 星 翔太さん

人口流出を抑える政策は

本市の人口減少を防ぐには、市で事業を計画し、そこで雇用することである。特産品の米を使用し、菓子類など加工品を製造販売する。資金はクラウドファンディングで集め、市民が働ける環境を考えてはどうか。

米粉で作った加工品は、市内の民間業者において商品開発し、多く販売されている。多くの若者が市に定住していただけるよう研究し、取り組む。



南方中学校3年 白井 龍希さん

牛をもっとPRした方が良い

本市から出荷される仙台南牛の生産量は県内で一番だが、このことに對する関心が低いように感じる。「登米市といえば牛！」のイメージを持っていただけるとPRをおこなうべきと思う。

本市はご承知の通り、仙台南牛の約4割の生産を誇る県内トップの産地である。仙台南牛の産地としての認知度向上を図るため、各種イベントへの参加やSNSを活用する。



石越中学校2年 春日 光滙さん

飲食店を増やす

本市には沢山の方々が交流できる場所が少ないと感じる。他自治体での取組にある、人と会話しながら気軽に飲食もできるカフェなど飲食店を増やすことが必要では。

魅力に溢れるまちとしてあり続けるには、若者や子育て世代など多くの市民が集まり、交流が生まれる取組が必要。市内にも魅力溢れるカフェや飲食店があるので、適時必要な支援をおこなう。



中田中学校2年 佐藤 美灯さん

部活やスポーツの活動について

本市にはスポーツができる広い施設が足りない。練習場所を確保する際、各団体で争いようになっている。大会などで結果を残すには練習がとて大切と考えるので、施設の増設や既存施設の修繕はできないのか。

市内には63のスポーツ施設がある。少子化の進行により増設は難しい。施設を気持ちよく利用していただけるよう環境の整備に努める。



石越中学校2年 工藤 鈴々さん

登米市のPRについて

連続テレビ小説「おかえりモネ」で本市のことを取り上げられるのは嬉しかったが、もっと本市を全国の方々に知ってほしい。テレビで注目となった林業を活かした事業やお祭りなどをおこない発信してはどうか。

間伐作業などの森林づくりの林業教室や木工品づくりのクラフト教室など、体験イベントを開催し、林業の活性化につなげたい。



佐沼中学校2年 齋藤 くるみさん

タブレットの導入について

本市の小中学校にICT教育が導入され、タブレットが配付された。しかし中学2年生は2人で1台を使用するため、授業での効率が悪く、家庭学習もうまく進まず、不便である。1人1台の導入計画はあるのか。

タブレットなどの活用は学校教育の基盤的なツールと考え、令和4年度にかけて学習環境の整備を進める。



豊里中学校2年 岩淵 歩花さん

環境問題について

生活環境で、犬のフンを拾わない飼いがいるなど、気になることがある。本市はさまざまな環境問題にどのような取組をしているのか。

公園などで飼いが犬のフンを放置しているとの苦情が寄せられたことがあり、看板を設置し、マナー向上の呼びかけ、対策を講じている。本市の環境を守る対策としては、地球温暖化防止対策や自然環境保全の取組がある。



米山中学校2年 山住 楓夏さん

緊急避難場所の看板について

本市にある災害時の緊急避難場所や防災に関する看板が少ないと思う。外出しているときや、市外から来ている人が避難する場所を分かるよう、標識や看板を増やすべきでは。

避難誘導のための看板設置や、大雨による過去の浸水実績を電柱などに表示する取組は有効だと認識している。他自治体の先行事例などを研究する。

登米市の未来を考える



津山中学校2年 大森 奈々さん

防犯対策について

最近、女子生徒の声掛け事案が増えている。その対策は。また、街路灯を増やせないか。

本市では113名の防犯指導員が定期的に車両で巡回し注意喚起などの呼びかけをしている。また、地域の見守り隊にも活動いただいている。防犯灯は、地域や学校などからの要望をもとに計画的に整備を進めているが、特に危険と思われる所は学校を通じて連絡いただきたい。



東和中学校3年 佐藤 由貴さん

登米市の医療について

本市は少子高齢化が進み、一人暮らしの高齢者の方も多くいて、通院が困難な方もいる。病院や診療所の訪問診療を増やせないか。

現在、市内では7カ所での訪問診療をおこなっている。訪問看護は、24時間365日市内全域で医療提供できる体制を整えた。今後はさらに在宅医療患者が増えるの見込まれ、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるように、各分野の連携を図っていく。



新田中学校2年 伊藤 圭智さん

公園の設置について

本市には公園が少なく、安心して過ごせる場がもっと必要である。例えば、蓮の花の時期には入園料をとり、その利益で長沼風車の遊歩道や公園の整備をできないか。

現在、市内には観光公園30カ所、森林・農村公園51カ所、都市公園30カ所を整備している。入園料は、多くの観光客に訪れていただくためにも無料と考えている。公園の整備は今後も継続していく。



南方中学校3年 渡邊 留唯さん

道路の安全について

南方に限らず多くの町で、地震などの影響を受け、歩道や車道にひびや陥没が見られる。安心して暮らすためにも道路、通学路の整備を考えてほしい。

町域ごとに道路パトロールを月1回実施している。不具合がある箇所については随時修正していく。通学路に特に危険な所がある時は、学校を通じて連絡いただきたい。



登米中学校2年 金田 淳史さん

登米市の医療について

本市では医師不足が深刻な問題である。救急の患者を受入れできず、石巻赤十字病院などに送られることがよくある。医師不足を補う手段は。

東北大学や東北医科薬科大学と連携を深め、研修医受入れに向けた指導員の確保や、研修医が引続き市立病院で勤務していただけるように取組む。県の医師派遣制度や、自治医科大学卒業医師の派遣継続などで、医師確保に向けて取組んでいく。



中田中学校2年 皆川 光さん

陸上競技場について

本市の中高生は他市の陸上競技場を借りて大会に臨んでいる。そのため、バス費用や労力もかかる。陸上部の皆さんの願いである競技場を本市にも設置できないか。

競技力向上のために必要と考えるが、基礎調査から多額の費用と整備期間がかかることが分かった。本市の財政状況や今後の人口減少を踏まえて総合的に検討していく。



登米中学校2年 柳沼 静依さん

少子化と学校の合併について

少子化の影響で、中学校では休止する部活もあり、学校が合併する恐れもある。学校が合併した場合の通学の対策は。

将来的には小中学校の統合が必要だと考えている。市内10校の中学校の生徒数は令和3年5月現在で1924名だが、10年後には1447名となる見込みである。通学区域が広がるため、スクールバスなどによる通学支援を考えている。



佐沼中学校3年 佐々木 歩果さん

登米市の宣伝について

本市は稲作が盛んなので米を使用したお菓子を提供するカフェがあると、多くの人に足を運んでもらえるのではないかとSNSを利用して広告をつくるべき。

米粉を使用したお菓子や、登米総合産業高校と市内農業生産法人が共同で、環境保全米を使用した「甘酒」を開発し、販売されている。カフェについても、米粉を使用したメニューを取り入れているお店もあり、積極的なPR活動に取り組んでいく。



米山中学校2年 鈴木 元さん

市民バスの増便について

本市はバスの本数が少なく、地域住民の移動手段や学生の通学手段に不便を感じている。バスの本数を増やせないか。

市民の利便性向上を図るため、路線の見直しやダイヤ改正をおこなうとともに、中心市街地循環線を新設するなどおこなっているが、利用者は年々減少傾向にある。増便は難しい状況であるが、ニーズの分析や要望を聞き、利便性の向上に努めていく。

子供議員の皆さんの素直で率直な質問や提案は、どれも本市の課題です。各常任委員会で1つでも多く施策に結び付けていきたいと思えます。私たちが市議会も皆さんと共に頑張ってください！

# 今年も「意見募集」を実施しました

第2回となった「意見募集」では各総合支所、公民館およびふれあいセンターに設置した投函箱に加え、新たな取組として、周知方法では市内小中学生への用紙配布、回答方法においてもグーグルフォーム（G）を活用しました。今回は、昨年度を上回る574件の貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。



宝江ふれあいセンターに設置された投函箱

皆さまからいただいた意見をまとめてみました。なお、市議会ホームページにも掲載しております。

テーマ①

**ドラマの盛り上がりを活かす観光のあり方について**

- 1 ドラマを活かし、観光へ結ぶ
  - ・ドラマ出演者に観光大使になってもらい、トークショーなどを開催する
  - ・関連グッズの作成
- 2 食や特産品を活かした観光の提言
  - ・「はっと」「油麴井」「ずんだ餅」などの動画の作成
  - ・米をメインにした、食事処の開設
- 3 従来の観光資源の有効活用
  - ・伊豆沼などの観光地整備
  - ・本市出身の漫画家によるアニメの町としての売り出しと、アニメ系の学校の誘致
- 4 長沼ポートハウスの活用
  - ・観光地へのアクセス強化と連携
  - ・ロケ地を巡る交通網の整備
  - ・気仙沼と連携して観光客を呼び込む

テーマ②

**ゴミを減らすためには**

- 1 リデュース（断る、買わない）
  - ・必要なものしか買わない
  - ・過剰包装を断る
- 2 リデュース（ゴミを出さない）
  - ・ものは大切に長く使う
  - ・使い捨て品を減らす
- 3 リユース（再利用する）
  - ・リサイクル排出への特典を付与
  - ・プラスチックごみ再利用の工夫
- 4 リサイクル（再資源化する）
  - ・分別して資源ゴミに出す
  - ・コンポストなどによる生ゴミの資源化
- 5 美化活動
  - ・ポイ捨てや不法投棄への警笛
  - ・ゴミ箱やリサイクルボックスの配備
- 6 啓発広報活動
  - ・ごみを減らす工夫をまとめた「知恵袋」を全戸配布
  - ・本市が回収する資源ごみ15品目の周知徹底と回収方法の工夫（出しやすく）

テーマ③

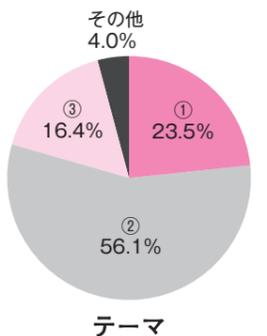
**コロナ禍での市内経済をいかに盛り上げるか**

- 1 消費者支援による活性化
  - ・ポイント等の利用
  - ・割引券・現金給付／プレミアム商品券の期限延長
- 2 広告戦略による活性化
  - ・ITの積極利用などメディアの活用／商店の魅力発信
- 3 イベント利用による活性化
  - ・公園等利用など週末のピアガーデン／入場制限でのイベント開催／農業を利用したイベント等の開催
- 4 積極的財政支出による活性化
  - ・公共事業等政策によるアウトドアフィールド整備／町域ごとの活性化策／迫川に新たな橋を建設
- 5 その他
  - ・意識啓発による外出への積極的働きかけ
  - ・感染防止を図るワケチン接種、スポーツ等
  - ・商品開発による市内事業者同士の連携
  - ・農業利用による収穫体験等

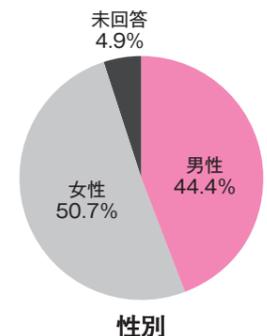
## 574件の意見が寄せられる

昨年のほぼ5倍  
その理由は

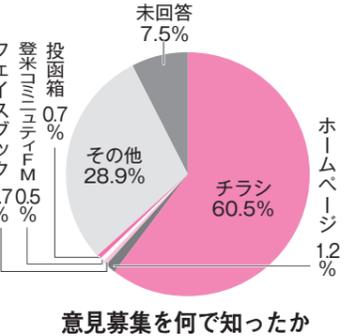
テーマ	意見数
①	135
②	322
③	94
その他	23



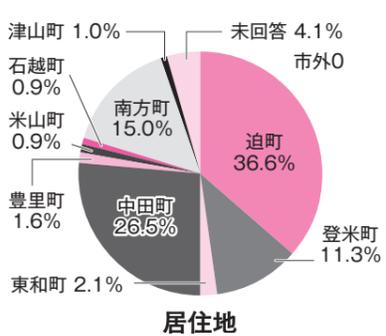
性別	意見数
男性	255
女性	291
未回答	28



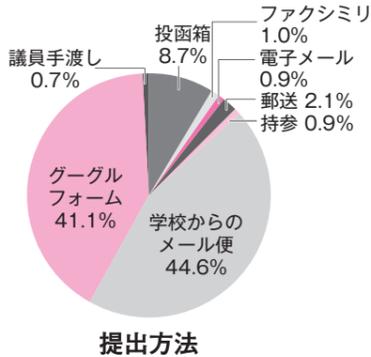
周知方法	意見数
チラシ	347
ホームページ	7
フェイスブック	4
登米コミュニティFM	3
投函箱	4
その他	166
未回答	43



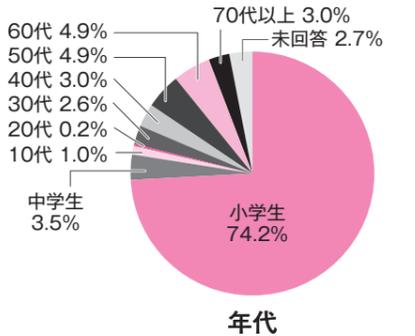
居住地	意見数
迫町	210
登米町	65
東和町	12
中田町	152
豊里町	9
米山町	5
石越町	5
南方町	86
津山町	6
市外	0
未回答	24



提出方法	意見数
投函箱	50
ファクシミリ	6
電子メール	5
郵送	12
持参	5
学校からのメール便	256
グーグルフォーム	236
議員手渡し	4



年代	意見数
小学生	426
中学生	20
10代	6
20代	1
30代	15
40代	17
50代	28
60代	28
70代以上	17
未回答	16



# 子育て世代と住民非課税世帯に現金10万円支給決定

## 12月定期議会

12月定期議会は、12月3日から16日までの14日間の日程で開催され、条例の一部改正、各種会計補正予算などの提出議案をすべて原案のとおり可決しました。また、さまざまな課題について17人の議員が一般質問をおこないました。

### 一般会計補正予算

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業

10億633万円

#### 事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯の生活を支援するため、0歳から18歳までの児童を養育する世帯に対して、給付金を現金で一括支給するもの

#### 支給額

18歳以下の児童1人につき10万円

**問** 国では5万円の現金と5万円のクーポンで給付するという内容であったが、本市が一括現金10万円支払いとした理由は。

**答** 子育て世帯に迅速に届けられ、地域や店舗、サービスなどが限定されない現金の方が望ましいという判断だ。

福祉灯油購入助成事業

2506万円

#### 事業目的

原油価格高騰に伴い、暖房用灯油の購入費用も高騰しているため、低所得の高齢者世帯等に対し、当該世帯で使用している灯油の購入に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図るもの

#### 助成額

1世帯当たり5000円  
(灯油購入助成券を交付)



### 債務負担行為

津山地域小学校施設整備事業

1053万円

#### 事業目的

津山地区の学校再編に伴い、児童生徒の学習環境を整備するため、統合校の校舎を改修する

#### 事業概要

統合校の校舎として使用する柳津小学校を改修するため、実施設計を行うもの

#### 工事内容

内壁、外壁及び床改修、暖房設備、給排水設備及び電気設備等改修

**問** 新築ではなくて改修工事という内容だが、地域や子供たちのことを考えれば新築とすべきではないのか。このようなどころにこそ予算を使うべきではないのか。

**答** 劣化診断調査結果から構造体としての問題はない。また、今後の児童数の推移や新築と改修のコスト比較検討などもした上での計画だ。

### 条例の制定

条例の一部改正

- 市営住宅条例の一部を改正する条例
- 固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例
- 印鑑条例の一部を改正する条例
- 市立学校設置条例の一部を改正する条例
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例

#### 条例の廃止

- とよま農産加工調理場条例を廃止する条例



とよま農産加工調理場

### 12月特別議会

非課税世帯等臨時特別給付金支給事業

7億4620万円

#### 事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、さまざまな困難に直面した方々に対し、速やかに生活・暮らしの支援を行う観点から、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円の給付金を支給するもの

#### 事業概要

- 支給対象世帯
  - ①住民税非課税世帯
  - ②家計急変世帯(新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、①の世帯と同様の状況にあると認められる世帯)
- ・支給額  
1世帯当たり10万円

(千円)

施設名	指定管理者	期間	指定管理料
中田農産物直売所及び中田農産物加工所	協同組合産直なかだ愛菜館	3年	1,734
もくもくランド	協同組合もくもくランド	1年	9,132
高倉勝子美術館	株式会社とよま振興公社	1年	11,275
登米総合体育館、登米総合運動公園及び登米武道館	特定非営利活動法人とよまスポーツクラブ蔵っこ	5年	126,120
南方武道伝承館、南方総合運動場及び南方中央運動広場	～いきいき健康づくり～ スポーツクラブみなみかた	5年	112,855

### 指定管理者の指定



中田農産物直売所及び中田農産物加工所



もくもくランド



高倉勝子美術館



登米総合体育館



登米総合運動公園



登米武道館



南方武道伝承館



南方総合運動場



南方中央運動広場

11月特別議会

一般会計補正予算

とめ産米セットで生活応援事業 2608万円

2608万円

事業目的
新型コロナウイルス感染症の長期化などにより、経済的に影響を受けている大学生等及び就学援助並びに児童扶養手当を受けている世帯に対し、市内産の農産物や加工食品などの詰め合わせを送ること、生活の支援及び市内物産品取扱事業者の応援消費をおこなうもの



【物産品イメージ】
実際に送付するセットではありません

主食用米生産緊急支援事業 3億1425万円

3億1425万円

事業目的
新型コロナウイルス感染症の影響下で、外食産業の需要が大幅に落ち込んだことによる令和3年産米概算金の大幅な下落等により影響を受けた市内農業者に対し、緊急的に支援金を支給することにより、次期作に向けた生産意欲の向上と経営継続を支援するもの

事業概要
市内農業者（法人を含む）に対し、本年度の主食用米作付面積（生産の目安を超えた面積は除く）に応じて10アール当たり4000円を支援する

時短要請等関連事業者応援給付金 1640万円

1640万円

事業目的
新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態措置・まん延防止等重点措置に伴う飲食店の休業・営業時間短縮、または、不要不急の外出・移動の自粛により影響を受けた市内事業者に対し、売り上げの減少に応じた給付金を支給し、支援するもの

事業概要
国の「月次支援金（以下、国支援金）」及び県の「時短要請等関連事業者支援金（以下、県支援金）」受給額の1/2以内を支給する。ただし、国支援金または県支援金の支給を受けた対象月の売上減少合計額から、国支援金または県支援金の受給合計額を差し引いた額、または、国支援金または県支援金の受給合計額の1/2の額のいずれか少ない額を上限とする

Table with 4 columns: 区分, 支給額 (1事業者あたり), 想定件数, 総支給額. Rows include 国月次支援金, 県時短要請等関連事業者支援金, and a total row.

時短要請等関連事業者応援給付金支給金額

総務企画常任委員会

水道施設統廃合計画（素案）

（11月18日）

現在、策定に向け検討が進められている統廃合計画について調査したもの。

本計画は、本市の水道事業施設更新計画に基づき、将来の登米市民が生活に必要とする水の量を推計し、施設の再構築（ダウンサイジング）により、持続可能な経営基盤の



保呂羽浄水場での現地調査

構築を図るものである。また、本市は土地の高低や、山や川の配置などによる環境的な土地の状況により、小規模な浄水場・配水池が分散した配置になっているため、施設の統廃合を進め、経営の効率化を推進することであった。

○計画目標年次
水道施設の統廃合は、令和

16年度までに実施するとしているが、現在、保呂羽浄水場再構築事業に取組んでおり、令和11年度中の新浄水場供用開始を目指し、準備を進めているものの、事前に廃止可能な施設については前倒しで実施することの方針を示している。

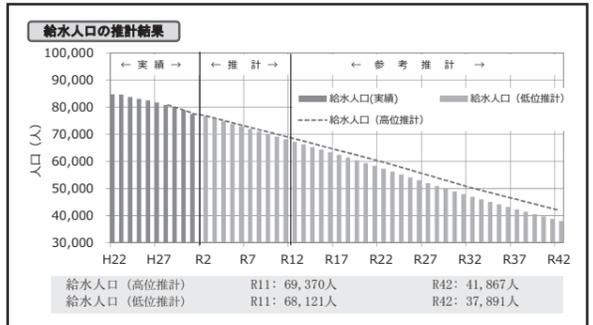
○浄水施設の統廃合計画

本市は、大小9箇所の浄水場を有している。

現在、浄水場4箇所において、稼働率の低迷、浄水コストの問題等による廃止、あるいは老朽化による運搬給水が検討されている。

○配水施設の統廃合計画

本市は、配水池21箇所、増圧ポンプ41箇所を有している。また、北上川の東部は山あいの地形で、沢に沿った形で集落があり、配水のために多くの配水池と増圧ポンプ場が設置されている。現在、配水池8施設、送水



ポンプ場1施設において、施設の耐震性、配置状況、維持管理や非常時対応への問題を理由として、一部更新を含む廃止が検討されている。

計画の実施にあたっては、地域住民への丁寧な説明が必要であり、対象住民に納得していただけることが重要ではないか。

# 「東和バイオガス発電所建設」 重要なのは地域住民の理解



「登米市の自然環境を考える」との意見交換会

## 「登米市の自然環境を考える」との意見交換会

(11月29日調査)

「東和バイオガス発電所建設計画の懸念事項について」をテーマとして意見交換会を行った。  
事業者自ら「無放流」に変更したということは、自ら土地の選定が適切でなかったと言え、説明内容の不透明さなどを訴える意見が多く、地域住民の理解が得られていないと感じた。委員会としては、地元理解が重要であると考え、継続調査を行うことにした。

## 東和バイオガス発電所建設計画に係る参考人招致

(10月19日調査)

これまで住民団体との意見交換会などをおこなってきたが、計画内容などについてはいまだ不明な点も多かったため、委員会としても事業者への聞き取りが必要と判断し、参考人として「合同会社開発73号」の事業担当者を招致し、調査にあたった。

数多くの質疑が行われたが、懸念事項を払拭するまでに至らなかった。  
市は、環境基本計画の中で再生可能エネルギー発電の積極的推進を掲げているが、今回の課題に対応する条例はない。早急に自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定を望むものである。

## 学校施設の状況

(10月25日調査)

近年、学校施設について老朽化が目立っている。敷地内にある遊具についても経年劣化や安全基準上、使用できないものがある。

このことから、学校関連施設の状況を確認するため、石越小学校及び中津山小学校の状況について、現地調査をおこなった。  
両校とも経年劣化による遊具の破損が多数あり、一部の遊具にはビニールテープが張られ、長期にわたり使用禁止になっている。各学校の施設整備については来年度から3



学校施設の現地調査

# 産業建設常任委員会

## アフターコロナへの対応を

### 「登米市産業振興会」との意見交換会

(11月9日)

産業建設常任委員会では毎年、登米市産業振興会との意見交換会を実施している。  
市内企業の現状や課題について意見交換により共通理解を深め、課題解決や地域経済の活性化につなげるのが狙いとなっている。



「登米市産業振興会」との意見交換会

今回はアフターコロナへの対応など、多くの意見や要望が話し合われた。その中には、安定した市内経済を構築していくためのインフラ整備や、コロナ禍以前からの課題である「働く場所と人材の確保」についても、当委員会とのさらなる連携を求める声が聞かれた。

また、昨年来のコロナ禍における本市での「ふるさと納税」の取組により、経営を支えられたとの感謝も伝えられた。  
「ふるさと納税」については、ドラマの好影響により納税額が約2倍まで増えてきている状況であるが、この流れを活かし、市内事業者を支える観点からも今後さらなる拡大を望む。

## 立地適正化計画の進捗状況

(10月12日)

立地適正化計画は令和4年3月末までの計画策定に向け検討を進めてきたが、都市機能誘導施設の設定、防災や減災対策に時間を要している状況であり、人口減少など多くの課題解決に対応しなければならぬ。  
執行部だけの計画とならないように、議会や市民との十分な協議を経て計画を策定されたい。

## 道の駅・もくもくランド復興活性化構想策定(素案)

(10月12日)

道の駅津山・もくもくランド復興活性化構想の素案として、3つのビジョンと7つのプロジェクトからなる構想が示された。

もくもくランドの復旧が進む中で、登米市の森林に着目した新たな価値を生み出す構想となり、また、そこには地域の声が十分に反映されるよう期待する。

## 農業経営維持対策資金利子補給事業

(11月19日)

令和3年産米概算金の大幅な下落により、農家所得の減少に対して農業経営の維持・安定及び再生産に必要な運転資金の貸し付けに対して、JAと共に利子補給をすることで農業経営の維持及び安定を支援するもの。  
概要として、個人が300万円、法人については1000万円の貸し付けに対する利子補給を行うことにより、実質無利子となるようにするもの。

## 主食用米生産緊急支援事業

(11月19日)

市内農業者(法人を含む)に対して、令和3年産の主食用米作付け面積(生産の目安を超えた面積は除く)にに応じて、10アールあたり4000円の支援金を交付するもの。  
県内各自治体でも今回の米価下落に対する支援策が打ち出されているが、本市でもその対応としての提案内容となっている。

## 報告

- ・「東和町土地改良区、内ノ目地区ほ場整備事業推進委員会からの要望書」に対応した件について、進捗があったため報告する。
- ・都市計画マスタープラン
- ・公営住宅長寿命化計画

米価下落対策については、今後、国の補正予算措置による対応が予定されているが、引き続き県や関係機関とも連携し、営農意欲向上につながるようなさらなる施策を検討すべきである。

## その他

令和3年7月28日に東和町土地改良区および内ノ目地区ほ場整備事業推進委員会から提出された「早期の事業採択を求める要望」に対し当委員会は、事業の早期実現を目指すよう強く求めたところである。その後、市と関係者で協議を重ねた結果、計画が2年間前倒しされることになった。

### 問 登米市の米価下落対策は

### 答 緊急的な支援が必要である



相澤吉悦 議員

**問** JAみやぎ登米では、2年産米の概算金は60kgあたり1万2200円であったが、3年産米の概算金は、60kgあたり9100円であった。2

**答** 年産米価よりも3年産米の価格が3100円も手取りが下がり、これでは、農家は将来展望を描けず、秋の支払いに困っている。来年もやってくるかと思えるような対策は。

**問** 米価の下落は大規模経営体のみならず、稲作農家全体へ大きな影響を与え、秋の支払いに困っている。来年もやってくるかと思えるような対策は。

**答** 米価の下落は大規模経営体のみならず、稲作農家全体へ大きな影響を与え、秋の支払いに困っている。来年もやってくるかと思えるような対策は。



未来の担い手のために  
(コンバインは停止しています)



本市としては、農業経営における各種支払いが重なる時期への対応を含め、緊急的な支援が必要。

**問** 農家が今後、経営継続できる支援をすべきと思うが。

**答** 県および農業協同組合が実施する資金融資への利子補給事業に加え、次期作への生産力の維持や経営継続の下支えを目的に、主食用米の生産者を対象に10アールあたり4000円を交付する。また国および県に対し、需給・価格安定対策や農業者の経営安定対策など、米価下落に対する緊急対策を強く求める要請書を市長会を通じて提出した。



伊藤善博 議員

### 問 不審者に対する学校の安全対策は

### 答 各小中学校で防犯訓練を実施する



豊里こども園での防犯教室

**問** 鳥獣による農作物への被害を防ぐ「鳥獣被害対策実施隊」を結成し、有害鳥獣対策事業の予算を増やすべきでは。

**答** 駆除隊員と話し合い、取組の方向性を確認する。

**問** 鳥獣による農作物への被害を防ぐ「鳥獣被害対策実施隊」を結成し、有害鳥獣対策事業の予算を増やすべきでは。

**答** 駆除隊員と話し合い、取組の方向性を確認する。

**問** 児童生徒へ、学校敷地内と通学路での、不審者に対する安全対策と安全指導の現状は。

**答** 各学校においては、危機管理マニュアルを整備し、不審者に対する対応についてもマニュアル化しており、教職員間の共通理解を図っているところである。防犯訓練については、警察の指導助言のもとで訓練を実施するよう、各小中学校へ指示伝達したところである。

**問** 通学路と学区内の危険箇所を、どのように周知徹底しているのか。

**答** 登米市通学路等安全対策推進会議を設置し、

国・県道路管理者、警察および市の関係部署と連携し、通学路合同点検を年に1回、7月～8月に実施している。児童生徒に対しての危険箇所の周知については、各学校において交通安全教室の開催や日常指導により、交通ルールや危険箇所の周知徹底を図っている。

**問** 防犯カメラの、校舎や通学路への設置状況は。

**答** 防犯カメラは、市民の安全を守るため犯罪の抑止効果をはじめ、事件事故の捜査に活用できるものと認識しており、一部の学校で児童生徒が使用する校舎昇降口に設置している。市内には迫町の中江地区に4台、登米町の桜小路地区に2台を設置している。今後も安全な教育環境を維持できるように防犯対策を進める。



### 問 市町村別介護予防指標の活用は

### 答 評価結果も参考に目標設定する



曾根充敏 議員

**問** 国は介護予防に積極的に取り組む自治体に対して、財政的な手立てを取り、推進している。本年にはこれらの取組を、市町村別に公表して、積極

**答** 国は介護予防に積極的に取り組む自治体に対して、財政的な手立てを取り、推進している。本年にはこれらの取組を、市町村別に公表して、積極

的な対策を図るよう促している。

この公表をどう分析し、方向性を描くのか。

**答** 「介護予防・日常生活支援」「介護給付の適正化」「介護人材の確保」については評価が低かった。

介護予防・重度化予防を一体的に実施するほか、ケアプランの点検を通して、介護給付の適正



化を図る。また高校に対し、介護事業所情報を発信して、就労に向けた働きかけに努める。

**積極的な「街路灯・防犯灯」の整備を**

**問** 本市は中学校を4校に再編する計画を進めている。通学という点で大きな負担が生徒に生じる。再編実施までに、多くの灯具整備をすべきでは。

**答** 防犯灯は毎年20基程度整備しているほか、東北電力ネットワークなどから寄贈頂いており、効果的な整備に努める。



浅田琢哉 議員

### 問 市内高校生の市内企業への就職について

### 答 精度の高いマッチングの強化に取り組む

高校新卒者の市内就職率について

【就職状況】	高校名	生徒数	進学	就職	民間企業就職者				公務員	その他	予備校	市内就職率 (%)
					市内	県外	海外	不明				
R2	佐田高校	221	192	15	3	4	0	6	2	14	0	33.3
	登米高校	99	60	34	12	15	5	2	0	5	0	35.3
	産業高校	186	57	124	49	54	20	1	0	5	0	39.5
	合計	506	309	173	64	73	25	9	2	24	0	38.2

※市内就職率 (%) = (民間企業就職者(市内) + 公務員(市外)) ÷ 就職



**問** 「高等学校新規卒業者の市内への就職割合」の目標を達成するための具体的な行動は。

**答** ハローワーク、県地域事務所、産業振興会と連携し、市内高校の進路指導担当者や市内企業の人事担当者との「情報交換会」、市内高校生を対象とした「就職ガイダンス」の開催、就職した先輩たちの声を掲載した「企業ガイドブック」の配布などで市内企業を知っていたりなどの取組を行っている。

**問** 市内高校生が大学や専門学校に進学してから、市内企業へ就職するための取組への対応は。

**答** 本市では、町域単位の予算配分の考え方は持っていないことから、予算配分が人口減少や若年

**問** 市の部署を横断した連携と情報の共有を図るための検討を行う。

**答** 市の部署を横断した連携と情報の共有を図るための検討を行う。

**問** 米山町、石越町の2町域が新たに過疎地域に指定されることになった原因を、9町域への予算配分の観点から、因果関係の分析を伺う。

**答** 本市では、町域単位の予算配分の考え方は持っていないことから、予算配分が人口減少や若年

者比率に影響を与えているとは考えていない。9町域の均衡ある発展に取組んでいく。

**問** その他の質問

・企業誘致による税収について

・進路希望調査アンケートの工夫について

・市内中小企業および小規模事業者バンクの創設について

町域	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
佐田	84.6	80.1	55.0	46.3	53.6	50.7	61.1	64.4
登米	57	120	50	50	41	17	52	50
産業	54.0	50.2	43.3	50.2	41.1	51.6	47.2	50.0
合計	54.6	50.2	43.3	50.2	41.1	51.6	47.2	50.0

町域	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
佐田	84.6	80.1	55.0	46.3	53.6	50.7	61.1	64.4
登米	57	120	50	50	41	17	52	50
産業	54.0	50.2	43.3	50.2	41.1	51.6	47.2	50.0
合計	54.6	50.2	43.3	50.2	41.1	51.6	47.2	50.0

令和3年度市町村保険者機能強化推進交付金および介護保険保険者努力支援交付金の集計結果を基に作成 (全国一覧表)

問 これまでの脱炭素社会への取組は

答 温室効果抑止に様々な施策を実施



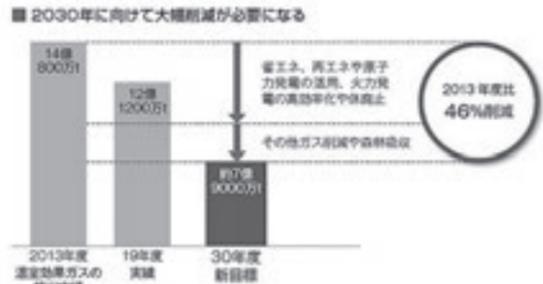
佐々木好博 議員

を施策として、街路灯のLED化、住宅用新エネルギー設備の導入支援などを計画に沿って着実に実施してきている。

問 本市がこれまで行ってきた地球温暖化防止策の実績と成果は。

答 本市では、「温室効果ガスの削減」や「新エネルギー利用推進」など

国が新たな目標として2030年、2013年度比で46%減を掲げた。本市の計画の見直しとエネルギー政策への対応は。



実現できるか46%削減

自然環境保全と自然への環境負荷に配慮し、太陽光やバイオマス発電などの新エネルギーを活かした地域づくりを進め

九州でブラックアウト(電源喪失)危機があった。再生可能エネルギーはその発電の不安定さから、増やせば増やすほど火力や原子力などへの

ベースロード電源依存度が高くなる。市内電力安定供給の考え方は。

問 これまでの売電型から自家消費型へのシフトを促し、再生可能エネルギーの地産地消を進めていく。

問 米価下落に対応した支援策について

答 反当4千円および利子補給を講じる



熊谷康信 議員

問 他自治体に後れを取った形での支援金交付となったが、本市が先駆けて支援策を打ち出すべきではなかったのか。

答 財源との調整もあり、できるだけ多く出そうというところで検討を重ねてきた。専決処分ではなく議会に諮ってからの



稲刈りの様子

体化し推進する。

問 農業振興のための財源確保のため、クラウドファンディング応援基金を創設しては。

答 他自治体の取組を参考に調査・勉強する。

その他の質問  
・ウイズコロナの考え方について

問 登米保健所の縮小ではなく充実を

答 機能維持を改めて強く要望していく



工藤淳子 議員

問 登米保健所を再編統合する県の条例案が、11月県議会に提案された。保健所は精神保健対策や難病対策、地域医療の確保など、地域住民にとつ

「登米保健所の存続を求めると」では、12月に2回目の署名簿を宮城県知事に提出した。署名簿の取扱い団体には多くの団体が加わり、署名数は第1次分4376筆、第2

て重要な役割を担っている。オミクロン変異株の不安があるこの時期に、なぜ支所に縮小するのか。縮小ではなく、充実こそ必要ではないか。

問 保健所の役割は大変重要であり、機能維持を強く要望していくとともに、市民に対して県の方針をしっかりと説明するよう要望していく。

乳房補正具の購入費用の助成を

問 がん患者の経済的負担の軽減を図るため、助成を行うべきでは。

答 先進自治体の取組や国の支援策を調査研究しながら検討していく。

その他の質問

・乳幼児施設の防犯対策について

問 子育て施設での安全確保の状況は

答 不審者対策のさらなる強化を図る



岩淵正弘 議員

問 先般起きた、豊里こども園の事件においては、職員間の連携や危機管理がしっかりしていたように思う。

答 危機管理マニュアルに基づいた訓練の頻度はどのようになっているか。

答 危機管理マニュアルは、自然災害や不審者対策、地域によっては原子力災害などを想定して策定している。

問 訓練の評価をどのよう

答 訓練実施の前後に職



不審者を想定した訓練

答 人口減少は独立採算を原則とする水道事業にとって、大きな課題である。

問 水道事業の健全な運営や安全性の維持には料金収入の確保が不可欠である。今後、人口減少に伴う料金収入の減少が見込まれるが、事業経営への影響についてどう考えるか。



### 問 給水スポットの設置を

### 答 他自治体を参考に調査・研究する



熊谷和弘 議員

**問** 近年、地球温暖化や海洋プラスチックなどによる地球環境を脅かす環境問題が深刻化している。環境を守るため、普段の生活の中でできるこ

とから取組むべきと考えられる。その中で、ペットボトル抑制について伺う。その方策の一つとしてマイボトルの活用があげられる。これを推進する取組として給水スポットの設置が全国の自治体で実施されている。本市においても設置すべきと考えるが。

**答** ごみの減量化や熱中症対策のため、マイボト



「道の駅おおさき」(大崎市古川)に設置されている給水スポット

ルを持ち歩くライフスタイルは、一定程度定着しつつあると考えている。設置している他自治体を参考に調査・研究していきたい。

### 命名権(ネーミングライツ)の導入を

**問** 今回で2回目の質問となる。前回は「他自治体の取組を調査する」との答弁であった。

本市においても市有財産の有効活用により歳入確保を図るため、導入を実施すべきと考えるが。

**答** 導入に向けた準備を進めているところである。対象施設の選定手法を含め検討を行い、4年度中の導入に向け取組む。

### その他の質問

・子宮頸がんワクチンの積極的勧奨再開に伴う本市の対応

### 問 国土強靱化地域計画の策定状況は

### 答 素案ができ、4年1月に完成予定



首藤忠則 議員

**問** 県内の市で、国土強靱化地域計画がいまだに策定されていないのは本市だけである。遅れている理由と見通しは。

**答** 令和2年度に策定を目指していたが、コロナや他の計画の策定もあり遅れている。現在、素案ができ、必ず年度内、今のところ4年1月の完成を見込んでいる。

### 災害時のペット同行避難などの受入れ体制は

**問** ペットも家族同然という人もおり、災害時のペット同行・同伴避難の受入れ体制は。

**答** 本市では、飼育管理上の問題や動物アレルギー



ペットも家族

1などへの配慮から、敷地内の屋外などに専用スペースを設け、飼い主の責任のもとに飼育することとしている。第一義的には同行避難を推進し、同伴避難所の開設は、他自治体の取組状況も含め研究していく。

### 夏川の河川敷整備は

**問** 夏川の河川敷、土手などの支障木伐採の予定は。

**答** 県による令和2年の河川点検では、支障木について20%以上の阻害率の箇所が7カ所あり、今年度から順次伐採作業が始まっている。今後とも県に適切な対応を要請していく。



夏川の土手

### その他の質問

・本市職員の初任給の誤算定に係る諸問題は。

### 問 本市独自の経済対策を早急に

### 答 市独自の経済対策に取組む



日下 俊 議員

**問** プレミアム商品券の期限が過ぎた時の取扱いは。

**答** 期限を過ぎた場合は利用できず、延長もない。商品券の取扱いが郵

便局となった経緯は。

**答** 商工会の9カ所より郵便局の21カ所の方が、利便性が高いと判断した。

**問** 商品券は、地元券を多くすべきではなかったか。

**答** 登録店は598店舗。そのうち9割が地元



**答** 13件で626万円の交付見込みである。

**問** ビジネスサポート給付金は、一律15万円であり、3カ月平均30%以上の減収率が交付の条件となっている。この場合、減収と減少率の両方を条件にすると、申請者が限られるのでは。

**答** 11月末で12%にとどまっている状況である。周知が徹底されていないのかもしれない。

**問** 「ウィズコロナ対応環境構築支援事業」は、感染症の対応用品を購入できるよい事業である。しかし、応募状況が2割にとどまっているのはなぜか。

**答** 申請が面倒だということと事業そのものが周知徹底されていないこと。

**問** 農林業災害対策資金の支給要件は。

**答** コロナで影響を受けた方や凍霜害の果樹農家。

### 問 迫公民館の昇降機周知について

### 答 周知はしていないが職員が対応



佐藤千賀子 議員

**問** 迫公民館に昇降機が配備されているが、利用者のほとんどがその存在を知らない。高齢者や身体の不自由な方は現在苦労して階段を利用してのことから、昇降機設置の周知と利用しやすい工夫が必要ではないか。

**答** 同施設にはエレベーターが設置されていないことから、高齢者や体の不自由な方が所属する団体には可能な限り1階の部屋利用を推奨している。

現在、車椅子の方が来館された際の昇降機利用については公民館職員が対応している。今後はポスター掲示による周知



迫公民館の昇降機

や、昇降機への車椅子設置など利用しやすい工夫も図っていく。

### 南三陸町との交通アクセスについて

**問** 東日本大震災により、南三陸町から本市に移住した被災者には高齢者も多い。また、同町から本市内の高校に通う生徒などがおり、交通アクセスの充実が必要ではないか。

**答** 関係機関や南三陸町とも協議し、ニーズに対応できるように情報共有を図っていく。

**問** 少ないニーズにも応えられるように、ワンボックスカー利用などは考えられないか。

**答** ワンボックスカー利用などを考えれば利便性が高まると思うが、本市に移住された被災者は南三陸町だけではなく、課題がある。検討していく。



問 豊里小中一貫校の今後(再編構想案)



中澤 宏 議員

答 丁寧な説明、方向性見つけたい

うになるのか。

問 学校等再編構想案においては、小学校は旧町域に1校を配置、中学校は市全域での再編を基本とするとしているが豊里小中一貫校は今後どのよ

答 豊里中学校における今後の生徒数の見直しは令和12年度では単学級になる学年が出てくる。クラス替えできず9年間同じ人間関係で過ごすことや、教員が減少する可能性があるため、児童生徒の多様な学びの保障を考えた場合、中学校は再編が必要と考える。

問 全国の小中一貫校は

答 豊里小中学校が築き上げた伝統、財産をゼロにするものではない。活かせるものは当然活かしつつ検証を繰り返し、丁寧な説明をさせて頂き方向性を見つけない。

問 小中学校の課題だけを問題とするのではなく、統合学校にも課題があるはずだ。丁寧な検証を行うべきだ。

問 小中学校の課題だけを問題とするのではなく、統合学校にも課題があるはずだ。丁寧な検証を行うべきだ。



小中で最適規模を目指す豊里小中一貫校 異学年交流は、その特色



問 バイオガス発電計画変更の見解は



永島順子 議員

答 施設が安定して稼働できるか懸念

問 米谷に建設が予定されているバイオガス発電所について、事業者は国内で初めてという排水無放流のシステムに計画を変更してきたが、見解は。

答 設備機能が十分發揮され、安定した稼働が見込まれる施設なのか、事業継続へ向けたコスト面も含め、懸念している。

問 住民が心配している万が一の事故発生時の対応策は十分講じられていると考えるか。

答 地域住民と同様の不安を抱えており、開発指導要綱などに基づく事業者への指導はもとより、自然環境や生活環境に影響を及ぼすおそれがない



木のおもちゃで遊ぶ子供たち

か、事業内容の精査を進めていく。

問 「おかえりモネ」の機運を活かし、自然循環の源である「木」を中心に据えた、木育を積極的に進めてはどうか。

答 発信力を強化しながら子どもから高齢者までさまざまな世代の人たちが「木」と触れ合える場を提供していく。これま



問 「おかえりモネ」の機運を活かし、自然循環の源である「木」を中心に据えた、木育を積極的に進めてはどうか。

答 発信力を強化しながら子どもから高齢者までさまざまな世代の人たちが「木」と触れ合える場を提供していく。これま

問 熊谷市政の主要施策の道筋は



田口政信 議員

答 立地適正化計画の中で考える

て議論を重ね、国の補助金、合併特例債の活用など財源確保の見直しを含め検討している。

問 立地適正化計画の進捗状況と財政確保の見直し、実現性の本気度は。

答 計画策定委員会や推進協議会で基本方針や都市・居住誘導区域につい



図 誘導施設の届出イメージ  
出展：国土交通省「都市計画運用指針における立地適正化計画に係る概要(平成28年9月1日時点版)」

問 図書館建設は。

答 施設が老朽化し、読書や学習できる環境になるので、学びと交流の拠点として、本市らしい図書館を考えたい。

問 陸上競技場建設は。

答 建設に係る課題を整理し財源や人口状況など総合的に検討していく。



問 国保税の均等割、対象者広げよ



鈴木 実 議員

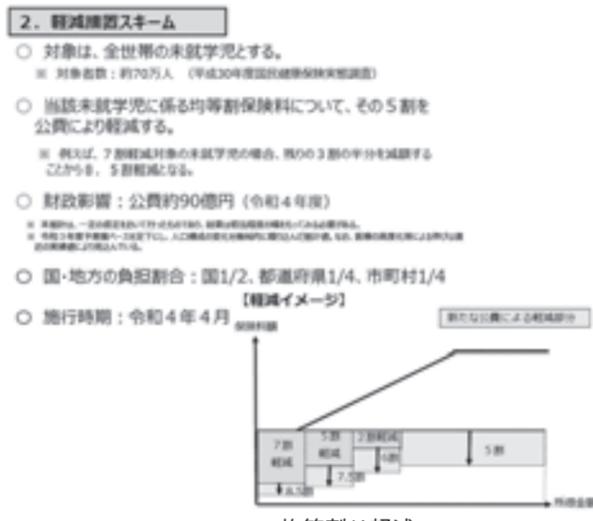
答 住みよいまちづくりを頑張る

問 次年度から子どもに係る国民健康保険料等の均等割額の減額措置が導入される。

答 本市独自に範囲を広げられないか。

問 統一水準や目標年度等が明らかになっていない中で、一定の方を対象とした市独自の軽減策については、差し控えたい。財政との関係はあるが、「登米市はいいところだね」と言われるような施策を頑張ってみよう。

問 本市の原子力災害対策において、市民の安全



均等割り軽減  
出展：厚生労働省ホームページ  
全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案について、2(2)子どもに係る国民健康保険料等の均等割額の減額措置の導入(国民健康保険制度)から抜粋



問 原子力災害がUPZ圏外に及ぶ可能性があるため、計画の調整を原子力対策ワーキンググループに要請している。特に心配なのは、石巻

に買い物に行っている市民。万が一のときに、石巻圏域にいる市民に対し、どのような行動を取るべきかを検討させ、早めに関わりたい。また勤務先に避難計画の確認をしていきたい。

### 問 プラスチックごみの分別回収は

### 答 包括的な資源環境体制を促進する



八木しみ子 議員

**問** プラスチックごみの削減に向けた新法が、令和4年4月1日に施行される予定である。この新法は家庭から出るプラスチックの一括回収を市区町村

の努力義務とする規定を設けており、資源化や分別収集となると市民の協力が不可欠である。施行に当たって導入方法などの検討内容を問う。

**答** 多様な物品に使用されているプラスチックに関し、包括的な資源環境体制を強化する必要があり、早急に取り組まなければならない課題と認識している。市町村はその区



域内におけるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集、再商品化のための体制や施設の整備、分別基準の策定などの必要な措置を講ずるよう努めるものとされており、早期に分別収集を開始できるように検討中である。

### 交通弱者の足の確保を

### 高年齢ドライバーの運転免許証の自主返納を促す動きが目につくように

なった。免許証返納者と併せ、多くの交通弱者の足をどう確保するのか。新たな公共交通サービスの整備について問う。

**答** 地域公共交通再編計画を令和4年度に見直す。日常生活を支え、多くの市民に利用していただける取組を推進するなど、地域の実情に合った一層利便性の高い、持続可能な公共交通を目指していく。



リサイクルステーションに集められたプラスチックごみ



デマンド型乗合タクシー

# あなたの声

# 市民

# メッセージ

## わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

### 地域活動に思うこと



木川 裕美さん (迫)

自然も食材も人も豊かな登米市にほれ込んで17年。

震災のときは、4歳と1歳の子を抱え途方に暮れていたところ、ご近所さんが夫が戻ってくる1週間もの間泊めてくださいました。

子供会活動では、未就学児の弟妹を連れて行くと、子供たちみんなが自然に子守りしてくれて。

核家族で親も親戚も近くにいない私たち家族は、地域に守られ助けられて生活しています。

現在、地区活動も子供会活動も以前の様にはできず、新しく地区や子供会に入ったご家庭の中にはありがたさが感じにくい状況が続いています。

地域活動が疎遠になりがちなこのご時世。活動を面倒に感じがちですが、そこで培われるご縁は計り知れません。これからも、楽しくできる範囲で活動し続けたいと思っています。

## 議会モニター募集

議会では、『市民と共に開かれた議会づくり』を目指し、議会運営に関して意見を寄せていただくため、議会モニターを募集します。

**【活動内容】** 議会を議場やインターネットで傍聴、議会運営・議会だより・ホームページ等への意見・提案、意見交換会への参加、議会アンケートへの回答。

**【応募資格】** 市内在住満18歳以上の方で議会運営に関心を持つ方※議員・常勤公務員は除きます。

**【任期】** 委嘱された日～令和5年3月末

**【募集人員】** 20人以内

**【応募方法】** ①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④電話番号⑤職業を申込書に記入し、議会事務局に持参または、郵送、FAX、電子メールのいずれかでお申し込みください。

※申込書は、議会ホームページ、事務局に準備しています。

**【募集期限】** 3月11日(金)まで(当日消印有効)

**【申し込み・問い合わせ】** 議会事務局  
〒987-0595登米市迫町佐沼中江2-6-1  
TEL 0220(22)1913 FAX 0220(22)9225  
✉ gikajimu@city.tome.miyagi.jp

## 議会の動き

25日(木)	22日(月)	19日(金)	18日(木)	15日(土)	13日(日)	9日(火)	5日(金)	4日(木)	29日(金)	28日(木)	26日(火)	25日(月)	22日(金)	19日(火)	15日(水)	13日(金)	12日(土)	11日(日)	10日(月)
新コロナウイルス感染症連絡本部会議 議会運営委員会																			

### 牛と共に



とみわ たかし 富栄 隆さん (米山)

おはよう。おはよう。一頭一頭に声を掛ける。もくもくと牛たちの吐く息は、ダイヤモンドのごとく光り輝いている。ビロードの毛に覆われた彼らは、寒さをものともしないようだ。

就農して3年目の冬。実に力強く生き生きとした牛たちのその姿を眺めながら、妻と一緒に幸せな「時」を過ごしています。現在、繁殖牛30頭を飼育しています。非農家からの就農にあたって、さまざまな壁がありました。各関係機関の皆様はじめ地域の皆様のお力添えをいただき、成し遂げることができました。

今後は、新規就農の経験と知見を活かし、地域の畜産業の発展に尽力したいと考えています。  
最近、秋田犬の要(かなめ)君と散歩しながら、近所の皆様とお話を楽しくしています。



おおともこ 大友とも子さん (豊里)

### 利用しやすい図書館を期待

私は月2〜3回の割合で迫図書館を利用しております。コロナ禍以前は館内でたくさん本に触れることができ、至福の時でしたが、現在は館内での読書に時間制限があり、早くコロナ終息へと願うばかりです。残念に思うこともありま

す。フロアの狭さと陳列棚が高いことです。また、ママが子どもに静かに、静かにとささやく声に寂しいものを感じます。豊里小学校低学年の教室に、本の読み聞かせボランティアが入っていますが、その方々のお話を聞くと、子どもたちは耳を澄まして、静かに聞き入っているようです。本が大好きなんでしょうね。読書から会得する力は無限大だと思います。幸福の空間が広がる整備された図書館があれば、子どもたちも大人も楽しく、きつと読書の輪が広がっていくような気が致します。



# 議会で市民歌静聴 米川小学校6年生の皆さん

登米市議会では、その年最初の議会で市民歌を斉唱しています。令和4年は、米川小学校の6年生11名の皆さんが事前に収録した合唱映像を静聴しました。

今回の市民歌斉唱への取組を6年生担任の大沼咲稀先生と児童代表の岩淵成夢君に伺いました。

**大沼先生** 市民歌の歌詞をひとつひとつみんな確認しながら、「登米市ってこんなところだよね。」そして、「登米市にはこんな願いをもつてこの歌詞を作ってくれた人がいたんだよね。」と、登米市についての学習を進めるこ

とができました。今日は残念ながら、この場で斉唱することはできませんが、心の中で登米市に対する思いをひとりひとりが動画の中にひとつひとつ歌詞の中に気持ちに乗せて歌っております。



米川小学校の皆さんありがとうございました！



**岩淵君** 今まで聴いていたことのある市民歌でしたが、歌詞の意味まで詳しく考えたことはありませんでした。練習をとおして、市民歌は登米市の過去と今と未来について歌われていることに気づきました。その中で僕は、2番の登米市の歴史が歌われている「進歩を楽しみ 古きに学び」の歌詞が一番好きです。僕はこの歌詞にあるように登米市の歴史を学び、その歴史を守り続けられるような人になりたいです。市民歌の練習をとおして、僕たち6年生は登米市の魅力に改めて気づくことができました。これからも登米市の魅力を多くの人に伝えたいです。

**議会からのお知らせ**

**新型コロナウイルス感染症に伴う議会傍聴について**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会議並びに各種委員会等の傍聴の自粛をお願いする場合があります。

**2月定期議会**

**2月3日(木) 開会予定**

本会議はインターネット中継でご覧いただけます。

**議会中継がスマホで見れます。**

※スマートフォンでの視聴はパケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信料が高額になる場合がありますので注意してください。

## あとがき

新しい年が明け、一カ月が過ぎました。壬寅年は「新しく立ち上がる」「生まれたものが成長する」という縁起の良い年のようです。

誰かのためになる行動が自分自身の成長につながると信じて、一步一步共に進んでいこうではありませんか！

(遠藤真理子)

### 広報広聴委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 佐々木好博 |
| 副委員長 | 伊藤 善博 |
| 委員   | 熊谷 康信 |
| 〃    | 浅田 琢哉 |
| 〃    | 遠藤真理子 |
| 〃    | 鈴木 実  |
| 〃    | 永島 順子 |
| 〃    | 首藤 忠則 |
| 〃    | 曽根 充敏 |
- 議長 関 孝